

歴史的建造物保全活用に関する連続フォーラム 実施状況報告

9月29日長岡会場

歴史的建造物保全活用連続フォーラムの第一弾を長岡市のまちなかキャンパスで行いました。保全活用の意義、専門家養成の取り組み、今後の戦略と展望についてお話し後、昨年度の専門家養成講座修了生から山本五十六生家、旧川西町の豪農木村家住宅の調査成果と活用計画案について報告、次に旧与板町の楽山苑の実態と課題について問題提起、最後の質疑・意見交換も活発で地元長岡地域振興局の土屋建築課長からも激励の言葉をいただきました。



10月26日佐渡会場

歴史的建造物保全活用に関する連続フォーラムの第2回を佐渡で開催、午前中は県の主催で昨年度のヘリマネ修了生が調査を行い道路改良に伴う解体移築を検討している羽茂の川口家住宅の見学会、午後は会場をあいぽーと佐渡に移してフォーラム、始めに私から歴史駅建造物保全活用の意義と展望についてお話し、その後、ヘリマネ修了生の皆様から川口家住宅の調査成果の発表、次いで質疑と意見交換、佐渡には素晴らしい文化的素材に恵まれているがいかにかそれらの素材を磨きまちづくりや地域づくりに展開していくか、そのための専門家としての役割など建設的で活発な意見交換を行うことができました。



11月11日胎内会場

胎内市産業文化会館で歴史的建造物保全活用に関する連続フォーラムの第3回を開催しました。はじめに米沢街道沿いの築191年が明らかになった豪商「荒惣」の町家を見学、その後昨年度のヘリマネ修了生による「荒惣」の調査成果、歴史的考察の発表、意見交換も活発で内容の濃いフォーラムでした。ご当主の跡取りからも出席いただき先祖代々手塩にかけてきた建物に愛着がある、できるだけいい形で保全継承していきたい、新たな活用策も模索していきたいので是非応援してほしいととても前向きな言葉をいただきました。徐々にですが共感の輪が広がりつつあると嬉しくなりました。



12月2日新発田会場

歴史的建造物保全活用フォーラムの第4弾を新発田市の新潟職業能力開発短期大学で行いました。はじめに趣旨説明と歴史的建造物保全活用の意義、各年度の専門教育の実績、今後の展望について私からお話しその後昨年度の修了生の皆さんから新発田市の造り酒屋「金升」の調査成果を発表、質疑と意見交換も活発、「金升」の高橋社長はじめ学生の皆さんも質疑に加わっていただき、お陰様でとても内容の濃いフォーラムになりました。



1月15日小須戸会場

歴史的建造物保全活用に関するフォーラム第5弾を明治のまちなみが色濃く残る小須戸町で開催しました。初めに地元のまちづくりリーダーからまちなみをご案内いただきその後小須戸まちづくりセンターに会場を移しフォーラムを実施しました。メインは昨年へのりマネ受講生が自主的に調査した成果としてかつて呉服屋として栄えた旧割野屋の沿革、歴史的文化的価値の考察、活用方策の提案を発表し意見交換を行いました。うれしいことに4月からは中野邸美術館の別館としてギャラリーなどとして活用されることになったそうです。今年度実施した5回とも会員だけでなく地域の方も参加いただき、次につながることも意義のあるいいフォーラムになったと感謝するとともに何とか来年度も助成金を獲得してフォーラムを継続し、共感の輪を広げていきたいと思っている次第です。

